

# 進化する社会構造と幸福 ～日本人が幸福を感じられる社会のカタチとは～

中田笙子 吉村優菜

## 要旨

私たちにとって「幸福」とは、どのようなものだろうか。幸せの感じ方は、その人の価値観や置かれている状況によって大きく異なっていると言えるだろう。そんな中でも、より多くの方が幸せを感じられる社会のカタチを創ることで、より良い世界を築くことができると考えた。そこで、他国と日本の社会状況や現状の日本人の考える幸福を国際的に行われている調査や、私たちの行ったアンケート調査の結果から、より良い社会を創るためにできることを模索していきたく思った。

## The Evolving Social Structure and Happiness

- In what form of society can Japanese people feel happiness? -

Shoko Nakada, Yuna Yoshimura  
Supervisor: Okabe shinji

## Abstract

What is happiness?

The state of happiness changes greatly depending on the person's values and circumstances. We are interested in such changes and we want to explore the way of creating a form of a society where Japanese people can feel happy most of the time. Therefore, we search the problem by using The United Nations conducts a world happiness report and comparing countries which are high rank in The United Nations conducts a world happiness report.

## 1. 序論

世界には多くの国が存在しており、各国によって経済状況や生活環境、治安や文化も異なっている。日本もまた、独自の文化を持ち、約1億人の人が生活をしている。その1億人のうち、どのくらいの人が日本の暮らしに満足し、幸福を感じているだろうか。ここでは、まず、日本の現状を把握し、ワールドワイドな視点で、今の日本に欠けているものをあぶり出し、それを補うためにできることを探って行きたい。

## 2. 調査方法

国際的に行われている世界幸福度調査(World Happiness Report 2020)や英国のシンクタンク研究所が算出しているレガタム繁栄指数(Legatum Prosperity Index)の調査結果や、高校生を中心とした日本人を対象として行った独自のアンケート調査、SDGsの進捗状況などをもとに現在の日本の幸福のために欠けているものを探す。その調査結果をもとにそれを改善する方法を他国の例を参考に考え、提案する。

## 3. 調査結果

### (1)世界の視点から見た日本の幸福度

国連の行っている世界幸福度調査(World Happiness Report 2020)によると2020年の日本の順位は156カ国中62位と2017年の51位から3年連続の後退となっている。

この調査は、その国の「GDP」、「社会保障制度」、「人生の選択の自由度」、「他者への寛容さ」、「国民の信頼度」の5項目から算出されており、日本の場合、特に「他者への寛容さ」が他の項目に比べ、著しく欠けていると考察されている。

また、イギリスのシンクタンク研究所が算出しているレガタム繁栄指数(Legatum Prosperity Index)と呼ばれる、世界幸福度調査(World Happiness Report 2020)と類似している9項目からその国の繁栄度をランク付けしている調査によると、日本は167カ国中19位と上位であるものの、他者への寛容さの観点が高いと考察される。

(表1)

(表1)

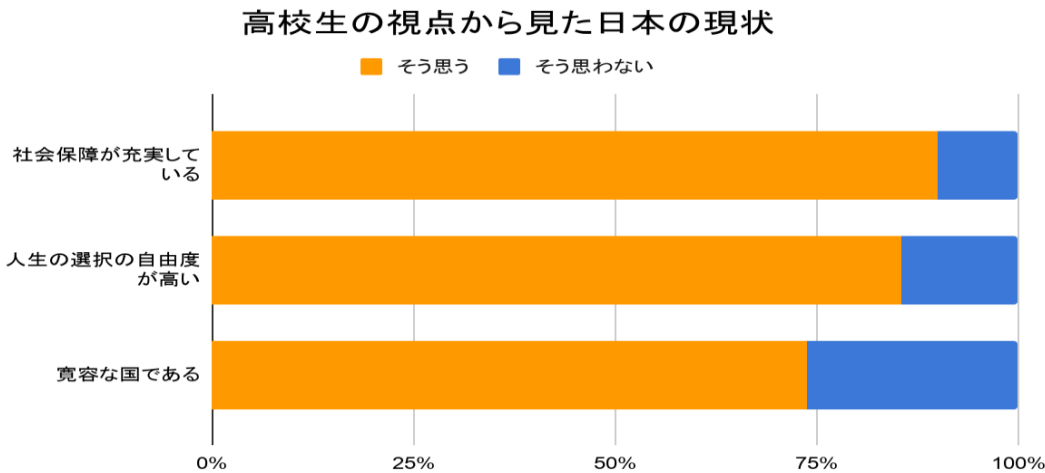
ランク	国名	社会保障制度	人生の選択の自由度	社会のガバナンス	他者への寛容さ
1	デンマーク	5	2	3	2
2	ノルウェー	2	1	1	1
3	スイス	1	12	7	8
18	アメリカ	58	21	21	9
19	日本	10	31	18	132
20	マルタ	19	18	23	17

## (2)日本人の視点から見た日本の現状

国際的に行われている調査項目に則した内容で高校生を対象にアンケート調査を行った。(グラフ 1)

全体を通して、日本の環境は優れていると言えるものの、上2つの項目に対し「そう思わない」と回答した人が 10%弱であるのに対し、日本の寛容さについての回答は「そう思わない」と回答した人が 26.1%と他の項目の倍以上であることがわかる。

(グラフ 1)



これまでの調査結果から、日本は他者に対する寛容さが欠けていると考察でき、この項目をもとに幸福度を算出していることから、この寛容さを具体的にし、それを向上させることで幸福度の向上に繋がると考えられる。

## (3)SDGs 達成と寛容さの向上

寛容さを向上させるには様々な人の価値観を理解し、互いに歩み寄れる社会であることが必要不可欠である。これは、SDGs(持続可能な開発目標)にも含まれているいくつかの項目からも日本が取り組むべき課題であるということが出来る。(図1)

(図1)



上の図は持続可能な開発レポート(Sustainable Development Report 2020)における日本の SDGs 達成段階を示している。オレンジや赤で染色されている項目が未

達成であることをしめしている。他者への寛容さの向上に関連のある、目標 5 の「ジェンダー平等の実現」や、目標 10 の「人や国の不平等をなくす」なども未達成であることがわかる。

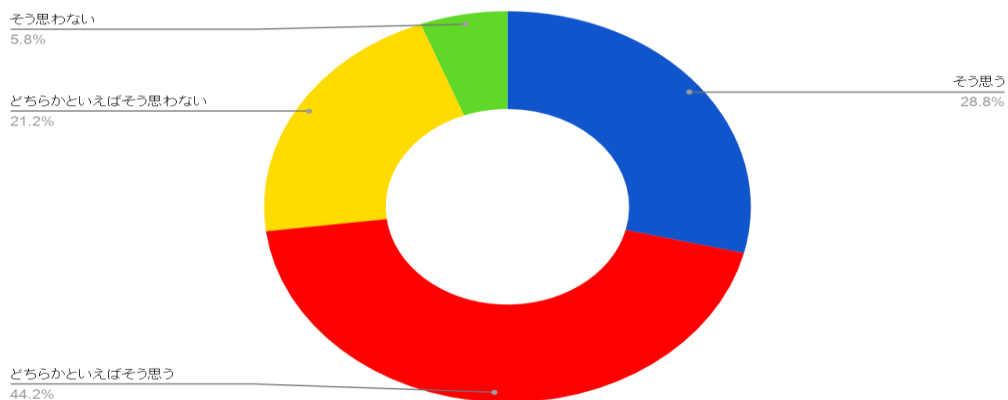
そこで、これらの目標を達成するための方法を考えることが日本人の幸福度の向上にも繋がると推測した。

#### (4) 高校生視点から見た日本人女性の社会進出の現状

持続可能な開発レポート(Sustainable Development Report2020)では、男女不平等な現状があるとされている。実際に、高校生を対象に女性の社会進出の遅れを感じるかという内容のアンケート結果(グラフ 2)からも、7割以上の人を実感として遅れを感じていることから、これは事実であると言える。

(グラフ 2)

Q日本は女性の社会進出が世界と比べて遅れていると思いますか。



#### (5) 世界の取り組み

SDGs における目標 5 や目標 10 を達成しているデンマークやフランスのような国は次のような取り組みを行なっている。

- ・女性起業家への支援拡大
- ・女性の昇進を促すプログラムの遂行
- ・積極的なリーダーシップ研修の企画

日本でもこれらの取り組みを参考にして、目標達成の重要性とそれにより、幸福度の向上に繋がるという事実を伝える手段を考える必要があると考察できる。



#### (6) 教育の観点から向上させる他者への寛容さ

1～5までの調査結果をもとに、日本人の幸福度を向上させるには教育の力を利用することが最適であると考えた。

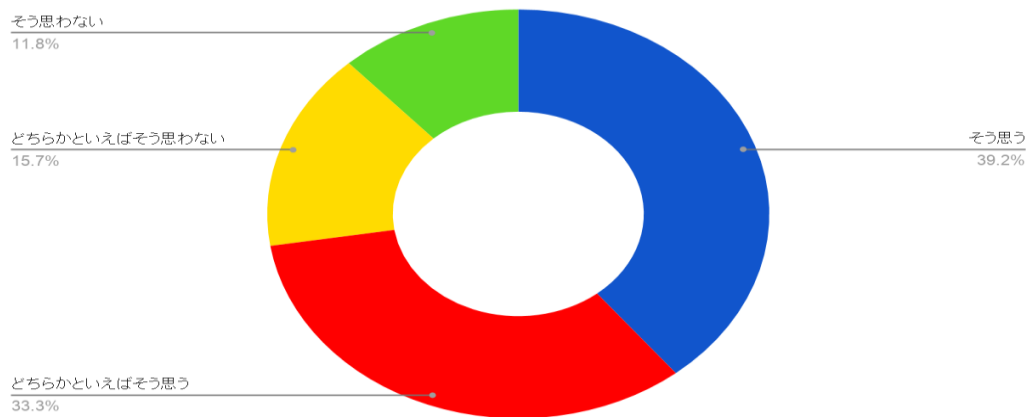
実際、私たち自身も今回の調査を行うまで、どのような現状があり、どの部分に課題があるのかを把握していなかったという事実から、まずは現状を正しく伝えることが大切であると考えた。

また、それと同時にどうすれば課題を改善できるかを教育の場で子供達に投げかけ、考えさせることで実際にその課題に取り組む世代にとって身近なものなり、解決につながっていると推測した。

これについて高校生にアンケートをとると以下のような結果を得ることができた。(グラフ4)

(グラフ4)

Q教育の観点から日本と世界の男女格差の現状を伝えていくことは女性の社会進出の向上につながると思えますか。



上のグラフより、7割以上の方がこの提案に賛成と回答した。

#### 4. 結論

日本は世界全体から見ると幸福度の高い国と考えることができるが、「他者への寛容さ」の観点において、他国に対し、大きく劣っていることが考察される。

そのため、日本人の幸福度を向上させるには、「他者への寛容さ」を向上させることが最適であり、そのためには、まず、義務教育の段階において事実と課題を正しく伝え、その上で他国の取り組みを参考に実現に向けて行動していくべきである。

#### 謝辞

新型コロナウイルスの流行により、例年通りの活動ができず、海外研修も実施できない状況の中で、出来る限り活発な探究活動の実施のためにご尽力くださいました、先生方を始め、多忙な中でもアンケート調査にご協力下さった全ての方にお礼を申し上げまして謝辞とさせていただきます。

本当に有り難うございました。

## 参考文献

- ・ネットワーク(SDSN:Sustainable Development Solutions Network)・ベルステルマン財団(Bertelsmann Stiftung) 2020 年  
Sustainable Development Report 2020(持続可能な開発レポート)2021 年 2 月 28 日  
[https://s3.amazonaws.com/sustainabledevelopment.report/2020/2020\\_sustainable\\_development\\_report.pdf](https://s3.amazonaws.com/sustainabledevelopment.report/2020/2020_sustainable_development_report.pdf)
- ・国際連合 2020 年 World Happiness Report 2020 (世界幸福度調査)2021 年 2 月 28 日  
<https://worldhappiness.report/ed/2020/>
- ・シンクタンク研究所(英国)2020 年 Legatum Prosperity Index 2020(レガタム 繁栄指数)  
2021 年 2 月 28 日 <https://www.prosperity.com>